


### あだち放課後子ども教室

地域で育もう！  
ふれあいの輪を広げよう！

「あだち放課後子ども教室」は、地域の方々の協力を得ながら運営されており、子どもたちが自主的に活動する場です。

**今月のテーマ** 

**子どもたちの  
“うれしい変化”を見つけました**

夏休みが終わり、学校の放課後にも、子どもたちの元気な声に戻ってきました。今回は、北鹿浜小学校放課後子ども教室（以下『北鹿ぱれっと』）の子どもたちを、一番近くで見守っているスタッフだからこそ気付くエピソードを紹介します。

#### ● 上達の早さに驚きました！

今まで一輪車に興味がなかったある女の子が、『北鹿ぱれっと』で友だちが乗っているのを見て「私も乗ってみたい！」と一輪車に挑戦し、わずか数日でスイスイとこげるようになりました。



一輪車って楽しいよ！

「子どものバランス感覚の良さには驚きました」と話してくれたのは、スタッフリーダーの清野さん。

毎日一緒にいると、子どもの成長が手に取るようによくわかるそうです。

スタッフを募集している放課後子ども教室があります。

詳しくは下記までご連絡ください。

**問い合わせ** (公財)足立区生涯学習振興公社 放課後子ども教室担当  
☎5813-3732 (平日 午前9時～午後5時)

#### ● 意外な一面に気が付きました

ある男の子が、真剣に本を読んでいます。その子は「学校の授業では人気がある本は読む順番がなかなかまわってこないけれど、ぱれっとの時間ならすぐに読めるからすごく楽しみだよ！」と話してくれました。



夢中で本を読む男の子

外遊びの好きな子だと思っていましたが、実はこんな一面を持っていたのだと初めて気が付きました。

#### ● 集中力がついてきました

『北鹿ぱれっと』では、遊ぶ前に宿題を済ませるルールになっています。最初の頃は友だちとふざけながら時間をかけて宿題をしていた子も、今ではみんなで机を囲むと、すぐに宿題に取り組むようになってきました。



スタッフと子どもたち

友だち同士、隣に座って宿題をするので、お互いに良い刺激になり集中力がついたようです。

このように、あだち放課後子ども教室は、子どもたちの心と身体の成長を確認できる場のひとつとなっています。スタッフは子どもたちのさまざまな“うれしい変化”を、今日もあたたかく見守っています。

### 避難訓練を行っています

子どもたちは、地震などの災害が起きた時の身の守り方や避難の仕方などを日頃から学んでいます。あだち放課後子ども教室でも、万が一に備え、スタッフと子どもたちが落ち着いて行動できるように避難訓練を実施しています。



#### ● まずは「自分の身を守る」

放課後子ども教室開催中に、地震発生を想定した放送が入り訓練が始まります。先生の指示が聞こえると、各活動会場にいるスタッフは子どもたちに、教室では「机の下にもぐりなさい!」、校庭では「校庭の中央に集まってしゃがみなさい!」と、まずは自分の身を守るよう大きな声で指示を出します。



机の下にもぐり身を守ります

#### ● 合言葉の『お・か・し・も』を守って避難開始

数分後、「揺れがおさまりましたが、これからも大きな揺れが続くかもしれません。『お・か・し・も』を守って校庭に避難します」と放送が入ります。

スタッフは図書室や体育館など、それぞれの活動場所で子どもたちを集め、トイレや廊下を確認しながら校庭に誘導します。



スタッフが避難場所に誘導します

**おすな**

**かけるな**

**しゃべるな**

**もどるな**

みなさん「お・か・し・も」の合言葉をご存知ですか？「おすな、かけるな、しゃべるな、もどるな」の頭文字をとった、緊急時の約束事です。

子どもたちは、この“合言葉”を最後までしっかりと守り、素早く、静かに校庭まで避難します。

#### ● 避難訓練を振り返り、次へ生かします

子どもたちは、校庭に避難したら学年ごとに並びます。そしてスタッフは、子どもの名前を確認し校長先生に報告します。

その後、『スタッフは落ち着いて避難誘導ができたか』、『子どもたちはしっかりと行動ができたか』、『どのくらい時間がかかったか』など避難訓練の様子を振り返ります。そして、スタッフ会議で課題を出し合ったり、校長先生からのアドバイスを聞いたりして、改善していきます。

このような訓練を重ねることが、万が一のとき、子どもたちの安全確保につながるものと考えています。今後も引き続き避難訓練を実施していきます。



子どもの名前を確認します